

平成 1 9 年 度

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合
一 般 会 計 、 特 別 会 計 歳 入 歳 出
決 算 審 査 意 見 書

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合 監 査 委 員

1 審査の期日 平成20年6月30日

2 審査の対象

- (1) 平成19年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成19年度東濃西部視聴覚ライブラリー事業特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成19年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成19年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成19年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成19年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成19年度東濃西部広域行政事務組合各基金運用状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成19年度における当組合の6会計の決算総額は、歳入 496,657,887 円、歳出 485,284,396 円で歳入歳出差引額は、11,373,491 円となっており、東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計を除き剰余金が生じた。東濃看護専門学校事業特別会計の決算剰余金は、2,675,475 円であるが基金への繰入額は、1,675,475 円である。

主な歳入財源である各市負担金については、総合計が 416,648,000 円で、全体の 83.9%を占めており、圏域住民一人あたり 1,876 円の負担となっている。

各会計における主要事項は、次のとおりである。

(1) 一般会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 38,315,000 円、情報システム統合事業負担金として、244,334,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

	多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
一般経費	15,731,000	10,538,000	12,046,000	38,315,000
情報システム統合	182,527,000	61,807,000		244,334,000
合計	198,258,000	72,345,000	12,046,000	282,649,000

第2款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、11,181,550 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として、4,425,676 円が収入となっている。

第5款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分 28,288 円となっている。

歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は定例会2回が開催されている。支出済額122,820円のうち主な支出は議員報酬の113,000円であった。

第2款 総務費

総務費は予算現額283,952,000円に対し、支出済額が281,365,451円となっている。主な支出は一般管理費で職員等の人件費32,274,258円、多治見市と瑞浪市で進めてきた情報システム共同運用事業の情報システム管理費として、委託料122,291,400円、使用料及び賃借料120,481,200円となっている。

第3款 衛生費

衛生費は予算現額11,167,000円に対し、支出済額が11,162,676円となっている。主な支出は3市への畜犬登録事務交付金が6,882,601円、嘱託職員の人件費が2,699,877円である。

(2) 視聴覚ライブラリー事業特別会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として1,781,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
903,000	360,000	518,000	1,781,000

第2款 繰越金

前年度繰越金として497,261円が収入となっている。

歳出について

第1款 教育費

歳出総額は2,107,876円となっており、主な支出は多治見市文化振興事業団への窓口業務委託料で735,000円、ビデオテープの購入費などの備品購入費で1,099,950円となっている。

本年度のビデオ等利用状況は次のとおりである。前年度と比較して利用人員は、725人の減少となっている。

	19年度	18年度	比較
利用本数 (本)	1,836	2,220	384
貸出件数 (件)	1,151	1,332	181
利用人員 (人)	20,503	21,228	725

(3) ふるさと活性化基金特別会計

歳入について

第3款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として、7,466,615円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として2,393,245円が収入となっている。

第5款 諸収入

広域自主研修助成金732,000円が収入となっている。

歳出について

第1款 総務費

歳出総額は 6,502,587 円となっており、主な支出はふるさと活性化事業への補助金 3,000,000 円、広域自主研修事業委託料として 1,946,400 円となっている。

平成19年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
みんなでてりゃあ夏まつり(多治見市)	1,500
こいのぼり祭(瑞浪市)	600
第20回織部の日記念事業(土岐市)	900

また、平成19年度広域自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
文書作成能力向上研修	一般職員	24名
コーチング研修	一般職員	24名
政策法務研修	一般職員	24名
プレゼンテーション研修	一般職員	20名
メンタルヘルス研修	一般職員	49名

(4) 東濃看護専門学校事業特別会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として 66,680,000 円、施設費負担金として 26,304,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。

(単位:円)

区分	運営費負担金	施設費負担金	計
多治見市	21,321,000	11,206,000	32,527,000
瑞浪市	8,114,000	4,274,000	12,388,000
土岐市	37,245,000	10,824,000	48,069,000
合計	66,680,000	26,304,000	92,984,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は 18,595,000 円で、主な内訳は授業料 13,620,000 円、入学金 3,900,000 円、入学試験料 580,000 円となっている。

第3款 財産収入

看護専門学校財政調整基金の平成18年度末残高 22,748,459 円の運用利息として 45,000 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として 500,000 円が収入となっている。

第5款 諸収入

諸収入は 8,394,884 円で主な内訳は、教材実習費 2,724,000 円、施設整備協力金 5,200,000 円となっている。

歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は 91,540,995 円となっており、主な支出は職員等の人件費 69,970,740 円、非常勤講師報酬 3,199,890 円、消耗品、光熱水費、修繕料などによる需用費 6,933,654

円、施設清掃、空調設備点検等の委託料 6,525,302 円、その他学校運営に係る費用となっている。

第 2 款 公債費

公債費として元金 19,773,108 円、利子 6,529,306 円を支出した。

公債費の支出及び平成 19 年度末未償還元金は次のとおりである。 (単位：円)

区 分	支 出 内 訳		借 入 年 月 日	19 年 度 末 未 償 還 元 金
	元 金	利 子		
普 通 債	969,820	275,700	H5.5.7	5,535,905
〃	18,803,288	6,253,606	H6.5.6	131,280,240
計	19,773,108	6,529,306		136,816,145

(5) 少年センター事業特別会計

歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

運営費負担金として 14,234,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	合 計
7,493,000	2,670,000	4,071,000	14,234,000

第 3 款 繰越金

前年度繰越金として、657,048 円が収入となっている。

第 4 款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として 43,320 円、および講演会の補助金として 50,000 円が収入となっている。

歳出について

第 1 款 教育費

歳出総額は 14,245,627 円で、主な支出は職員等の人件費 8,271,275 円、指導員巡回旅費 2,045,000 円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

	平成 19 年度	平成 18 年度	比 較
指導回数 (回)	614	620	6
指導員延人員 (人)	2,292	2,339	47
注意件数 (件)	127	179	52
電話相談 (件)	75	141	66
面接相談 (件)	0	4	4
メール相談 (件)	64	85	21

(6) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

運営費負担金として 25,000,000 円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	中 津 川 市	恵 那 市	合 計
5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	25,000,000

第 2 款 県支出金

県支出金として岐阜県市町村振興補助金 25,000,000 円の収入となっている。

歳出について

第 1 款 衛生費

歳出総額は 50,000,000 円で、東濃地域医師確保奨学基金積立金である。

(7) 各基金運用状況

東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成 1 8 年度末現在高は 19,043,349 円であり、これに対する決算年度中の基金運用収入 45,000 円を積立て、平成 1 8 年度決算剰余金から 3,705,110 円を基金に繰入れ、平成 1 9 年度末基金残高は 22,793,459 円となっている。

ふるさと活性化基金

本基金は東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたもので、定額運用基金である。

平成 1 9 年度の運用収入は 7,466,615 円となっており、各種事業に充当されている。

東濃地域医師確保奨学基金

本基金は東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために、新たに設置されたものである。

各市からの負担金を積み立て、平成 1 9 年度末基金残高は、25,000,000 円となっている。

5 指摘事項

特に是正すべき指摘事項はないが、要望事項としては次のとおりであるので、今後この要望事項に留意され事務に取り組みたい。

個別要望事項

看護専門学校

退学者が多いので、退学者の数を少しでも減らせるよう対策をたてること。

委託料の随意契約の案件に関して、3 市の中で、各分野の職員に協力を依頼するなどし、金額の妥当性、相当性をチェックするシステムを確立すべきである。

視聴覚ライブラリー

貸出件数、利用者数ともに減少傾向にある。良い教材が多く、施設を巡回するシステムも良いが、PR 不足と思われる。さらに、学校での利用が少ないようである。学校での利用増加を図るよう積極的に広報活動を進めること。

教材に関して、各市の図書館システムと連携して管理運用できないか検討してほしい。

ふるさと活性化基金

補助事業の総事業費の妥当性をチェックするシステムを確立すること。さらにその事業が、地域の活性化に繋がるものかどうかチェックをすべきである。